

事業番号	09 02 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	6次産業化ビジネスと食の地消地産推進事業	部局	農政部	課・室	農産物マーケティング室				
		実施期間	H25 ~	E-mail	marketing@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	①労働生産性								
総合的に展開する重点政策	2-2 地域内経済循環の促進	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進			6-2 信州のブランド力向上と発信				

1 現状と課題

- ・SDGs やエシカル消費等の新たな価値観への関心が高まる中で、関係部局が連携して、消費・生産の双方からのアプローチにより地消地産の取組を拡大することが必要
- ・新型コロナによる影響を踏まえ、6次産業化に取り組む事業者の経営改善に向けた専門的なサポートや、新たなビジネスの創出に向けた食品事業者間の連携強化が必要

2 事業目的

- ・商工、観光団体等と連携し、地域が主体となった新たな地消地産の取組の拡大を図る
- ・6次産業化に取り組む事業者に対して、経営や販売の専門家と連携したサポートを行うとともに、新たに創設したプラットフォームを活用し、事業者間の連携による新たなビジネスの創出を支援する

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①食の“地消地産”の推進と県産農産物の域内消費の拡大
- ・信州の伝統野菜フェアの開催と情報発信による農政部版エシカル消費の推進
 - ・生産者と地域DMO、観光協会等が連携した新たな地消地産の取組の拡大
 - ・有機給食を通じた環境配慮や持続可能な農業への理解促進と消費拡大
 - ・農産物直売所の運営方法の助言等による機能強化
- ②6次産業化等の地域資源を活用した高付加価値化の取組の推進
- ・6次産業化に取り組む事業者への専門家派遣等による経営改善の支援
 - ・食と農に関わるプラットフォームによる地域資源を活用した新たなビジネスの創出

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	売上高1億円以上の農産物直売所の売上総額	億円	170	176	↗	194	↗	200	未達成	第3期長野県食と農業農村振興計画において、H28年度から5年以内に売上総額を200億円にすることを目標としており、令和4年度はその最終年度にあたる。県産農産物の域内消費の拡大を図るための指標として、農産物の供給拠点である農産物直売所の売上額を設定。	
②	学校給食における県産食材の利用割合	%	49.6	47.0	—	45.7	↘	48.0	未達成	第3期長野県食と農業農村振興計画において、H28年度から5年以内に利用割合を48%にすることを目標としており、令和4年度はその最終年度にあたる。学校給食における県産食材の積極的な活用と食育を推進するための指標として、県産食材の利用割合を設定。	
③	6次総合化事業計画認定件数	件	99	100	↗	100	→	101	未達成	6次産業化に取り組む事業者の育成、経営改善の効果を図るため設定。	
④	6次産業化事業者平均売上額	千円	9,015	9,750	↗	9,660	↘	9,750	未達成	6次産業化に取り組む事業者の売上目標の達成に向けた増加額をフォローするために設定。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	128,752	△ 97,645	31,107	5,751	24,139	3.0
R3年度	0	118,972	195,161	314,133	2,387	295,654	3.0
R2年度	0	110,450	188,286	298,736	2,127	255,351	3.1

事業番号	09 02 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	6次産業化ビジネスと食の地消地産推進事業		部局	農政部	課・室	農産物マーケティング室

6 主な取組実績と成果

食の“地消地産”の推進と県産農産物の域内消費の拡大

- ・信州の伝統野菜フェアの開催により、伝統野菜の認知度向上と消費拡大を図り、全県38店舗で伝統野菜を用いたメニューを提供するスタンプラリーを実施するとともに、地域振興局単位で伝統野菜の料理教室等を実施した。
- ・有機給食を通じた環境配慮や持続可能な農業への理解促進と消費拡大を図り、県立特別支援学校等18か所で有機米等を使用した給食の提供と教材の作成（5,000部）・配布による食育活動を実施した。
- ・生産者と観光事業者等が連携した新たな地産地消の取組の拡大を図り、申請のあった6事業者に補助金を交付した。取組の中には、テレビに取り上げられ、消費量が増加した事例があった。
- ・農産物直売所の機能強化のため、6施設に農産物直売所案内人を派遣し直売所の運営手法の助言を行った。



【有機米・有機野菜を使用した給食と食育活動】

【メディアに取り上げられた補助金を活用した取組】

6次産業化等の地域資源を活用した高付加価値化の取組の推進

- ・6次産業化に取り組む、また取組を開始しようとする事業者への専門家派遣等を行い、6事業者の経営改善を支援した。
- ・食と農に関わるプラットフォームにより、関係事業者間の連携の強化を図り、地域資源を活用した新たなビジネスを創出することができた。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	売上高1億円以上の農産物直売所の売上総額	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
コロナ禍による消費行動の変化に伴いより新鮮な食材を求めて直売所の利用が拡大していること等、売上高1億円以上の施設は増加傾向であり、売上高1億円以上の農産物直売所の売上総額も増加傾向にある。							
指標②	学校給食における県産食材の利用割合	R3年度推移	—	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
物価の上昇に対し、給食費がなかなか上げられない状況下では、地場産よりも安い県外産・海外産を価格重視で利用している実情があることから、目標の達成には至らなかった。							
指標③	6次総合化事業計画認定件数	R3年度推移	↗	R4年度推移	→	達成状況	未達成
当該計画は6次産業化に係る施設整備事業である、農山漁村発イノベーション整備事業の申請要件となっている。R4年度については、長引くコロナ禍等が新たなビジネス展開の障壁となり当該事業を実施する事業者がおらず、目標達成には至らなかった。							
指標④	6次産業化事業者平均売上額	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
目標値は下回ったものの、信州6次産業化推進協議会と連携し、6次産業化に取り組む事業者の経営改善に向けた専門家派遣や事業者間の連携による新たなビジネス創出の支援に努めた。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・物価上昇等の外部要因に加え、県内生産者と県産農産物を利用する食品企業・給食・宿泊施設等との取引にミスマッチが生じ、地域における県産食材の利用割合は伸び悩んでいる（例：R4の学校食材の利用割合45.7%でR3より減少）。その一方で、SDGsやエシカル消費等の新たな価値観への関心の高まりにより、環境に配慮した農産物の利用やより身近で生産される食（新鮮・安心）に対するニーズは高まっている（売上高1億円以上の農産物直売所の売上総額は増加傾向）。
- ・長引くコロナ禍により観光や外食産業等の需要が依然として回復しなかったことから、6次産業化をはじめ地域資源を活用した付加価値向上に取り組む事業者数に影響が生じている。また、6次総合化事業計画は、国が申請窓口で、認定後の補助事業は県が窓口となっており、事業実施に時間を要することもあり、令和4年度は新規の計画認定がなかった。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・学校給食や宿泊施設、食品企業等において県産農畜産物の活用が促進されるように、需要に応じた生産拡大が図られる仕組みを構築し、併せて各利用者のエシカル消費の理解促進に向けた地域内循環の取組を推進する。（例：学校給食等における有機農産物の活用を促進するためのコーディネーター派遣、食を起点とした観光振興につなげるため観光協会や商工会等に助成対象・金額を拡大し観光地域づくりを支援）
- ・直売所が有する機能を地域の実情に応じて最大限発揮する取組を展開する。（例：運営や売上などに悩んでいる直売所へ農産物直売所運営案内人を派遣し課題解決に向けた伴走型支援による助言活動の実施等）
- ・6次総合化事業計画申請窓口の国と情報共有を行うなど連携して対応する。また、6次産業化に取り組む事業者の経営改善に向けた戦略策定・実行の支援や新たな販路開拓・商品開発の支援として、事業者間交流会やセミナーの開催、加工施設等の整備支援を実施する。

事業番号	09 02 02	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	6次産業化ビジネスと食の地消地産推進事業		部局	農政部	課・室 農産物マーケティング室

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	信州・食の“地消地産”推進事業		2,237 千円	894 千円	4,047 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県産農産物の域内消費流通の促進	直接 委託 補助金	<ul style="list-style-type: none"> 信州の伝統野菜フェアの開催と農政部版エシカル消費の情報発信 県立学校等における有機給食と食育の実施 地域DMOや観光協会と連携した地消地産の新たな取組への支援 フェア参加店舗：38店舗、食育実施：18か所、新たな取組への支援：6か所		
2	農産物直売所の機能強化	直接	<ul style="list-style-type: none"> 農産物直売所案内人による直売所の運営手法の助言 直売所の機能強化セミナーの開催 案内人派遣：6施設、研修会実施：1回		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	信州農業6次産業化推進事業		13,451 千円	17,344 千円	20,092 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州6次産業化推進協議会による一貫した支援	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 6次産業化事業の経営改善に向けた戦略の策定、実行の支援 6次産業化や地域資源の活用促進に向けた人材育成研修会 支援事業者：6者、研修会の実施：10回		
2	信州6次産業化推進事業補助金	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 柿皮からの機能性成分の抽出及び粉末化によるメタンガス排出量低減に受けたサプリメントの開発試験 試験において連携した事業者：3事業者		
3	ローカルフードビジネス創出への支援	委託 補助金	<ul style="list-style-type: none"> 食品企業や生産者、流通業者等からなるプラットフォームの設置 プラットフォームを活用した新たな商品開発等への支援 プラットフォーム参加事業者：111団体、新開発商品：1商品		